

その7 檜舞台に学ぶ



写真は、役者には檜舞台が得意。舞台檜に「だわって」作らぬ。下座から、舞台裏に居る檜の所作台、芝居小屋の雰囲気を感じる南座の部(いずれも京都市東山区、南座)

# 木林学

中川 典子

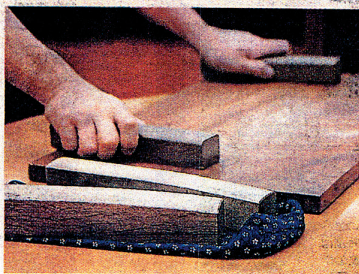
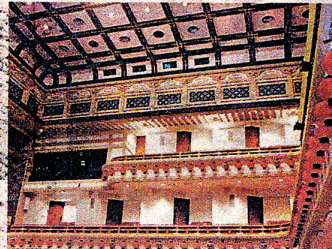
気持いい年の瀬に、南座の部を通りかかると、壮麗な「招き」に圧倒され、しばし入魂してしまいます。幼ころ、何度か招きを舞台企業を拝見しました。そのたびに須分ら「歌舞伎の役者には、名前も檜に書いてある。檜舞台を離れることはあんなの？」と教えられ、檜舞台という崇高な聖地を想像したものです。

特に木曾檜は、伊勢神宮の御用材として有名。厳しい寒さの中で育った樹齢約百五十三百年の天然檜。白みがかった色で光沢を持つ。鼻を突き抜ける香気は格別です。現在は、伐採時期や数量を限定するなど守られているため、なかなか手に入らなくなっています。

さらには、興味深かったのが、舞台裏に控えていた所作台。基本の大きさは、幅三尺(約九十センチ)、長さ十二尺(約三十六センチ)。この台を十五枚舞台の上に敷き、檜の所作舞台(置舞台、敷舞台ともい)をつくります。舞者の足のすべりをよくする、また足拍子が響きやすいようにするという役割も担っています。

今年の顔見世は、代目村越助さんの懸名披露に、舞臺我面があり、檜舞台の華やかな口上が見ものです。私も忘れがたい年末の挨拶を。今年も、木林学「愛読ありがとうございました。来年も「層」願に、すみやかにまで、ますますいいこと(ナシヨ)、御願いたあてまします。」(銘木書齋)

## 天然の「木曾」光沢と香気



舞台には華が必要。鍛冶さんの折頭は、真っ赤な裏地の小紋の袋にしめてあった。後ろは付け板と付け木



### 折(き)頭(がしら) 手入れ万全、裏方で支える

「すべての芝居は、折(き)頭(がしら)で始まり、折(き)頭(がしら)で終わると言われ時。この「折(き)頭(がしら)」とは、折(き)頭(がしら)の木のことを言います。着替(か)開き(ひら)き三分前(さんぶんぜん)二丁(にぢょう)十五分前(ごぶんぜん)の折(き)頭(がしら)二丁(にぢょう)廻り(まわ)り(は)は十二丁(じふにぢょう)目(め)で、お囃(は)子(こ)や音楽(がく)が始(は)まり、幕(まくら)が閉(と)ま(り)ました。キャリア三十年の舞(ま)臺(たい)監督(かんとく)鍛冶(かじ)明彦(あきひこ)さん(あ)は、藤山(ふじやま)實美(みづみ)先生(せんせい)が通り(と)り八丁(はちぢょう)はせ(は)せ(は)せ(は)せ)とおじ(お)し(し)り三丁(さんぢょう)に(に)いて(いて)ま(ま)す。役者(やくしや)も舞(ま)臺(たい)監督(かんとく)も。

も演出(いっしゅつ)の「環(わん)てい」音(ね)の效果(こうか)を考(かんが)へ(を)んと話(わ)します。鍛冶(かじ)人(ひと)は、昇(のぼ)り時(とき)代(しろ)から打(う)ち(う)ち(う)ち)の音(ね)を出す(だ)すもの(もの)を精(せい)製(せい)され(られ)折(き)頭(がしら)は(は)し(し)つ(つ)と(と)な(な)め(め)が(が)表面(ひょうめん)が(が)な(な)ら(ら)ない(ない)た(た)ら(ら)削(け)った(った)ガ(ガ)ラス(ラス)を使(つか)って(って)削(け)り(り)仕(し)上(じやう)せ(せ)い(い)う(う)お(お)ま(ま)り(り)の(の)良(よ)い(い)に(に)驚(おどろ)か(か)す(す)た(た)。

素材(そざい)は(は)白(しろ)檜(ひのき)。長さ(ながさ)三(さん)寸(すん)五分(ごぶん)約(やく)二(に)寸(すん)五(ご)分(ぶん)幅(ひろ)一(いち)寸(すん)五(ご)分(ぶん)角(かく)打(う)ち(う)ち)面(めん)の(の)み(み)も(も)丸(まる)い(い)山(やま)形(がた)に(に)丸(まる)み(み)が(が)丸(まる)い(い)あ(あ)り(り)何(なに)も(も)柱(はしら)目(め)の(の)細(こ)い(い)も(も)を(を)選(せん)ぶ(ぶ)て(て)が(が)大(おほ)切(きり)。檜(ひのき)の(の)丸(まる)太(ふと)の(の)芯(こ)を(を)採(と)り(り)取(と)り(り)した(した)も(も)が(が)、音(ね)の(の)振(ふ)動(どう)が(が)抑(おさ)え(え)て(て)ま(ま)す(す)。

同(どう)じ(じ)く(く)打(う)ち(う)ち)も(も)の(の)シ(シ)ケ(ケ)も(も)し(し)は(は)「シ(シ)板(いた)」は(は)檜(ひのき)の(の)根(ね)を(を)使(つか)って(って)約(やく)九(く)寸(すん)五(ご)分(ぶん)、興(き)行(ぎやう)は(は)尺(しゃく)五(ご)寸(すん)四(し)分(ぶん)五(ご)分(ぶん)の(の)板(いた)を(を)打(う)つ(つ)「シ(シ)ケ(ケ)木(き)」は(は)折(き)頭(がしら)より(より)ち(ち)や(や)小(こ)み(み)で(で)同(どう)く(く)白(しろ)檜(ひのき)を(を)使(つか)う(う)も(も)檜(ひのき)に(に)傷(きず)一つ(ひとつ)な(な)ら(ら)ない(ない)は(は)た(た)な(な)ら(ら)ぬ(ぬ)で(で)は(は)な(な)ら(ら)ぬ(ぬ)ま(ま)よ(よ)う(う)な(な)打(う)ち(う)ち)方(かた)を(を)考(かんが)へ(を)な(な)る(る)で(で)し(し)う(う)。

檜(ひのき)舞(ま)臺(たい)の(の)裏(うら)方(かた)を(を)、良(よ)き木(き)が(が)支(さ)え(え)て(て)い(い)る(る)て(て)を(を)実(み)感(かん)し(し)ま(ま)す(す)。

毎月第一週に掲載します。